



通信

HP 学校だより
R6. 12. 12
NO. 32
文責 伊藤美佳



マラソン大会にて

晴天の中、5日(木)にマラソン大会を実施しました。しかし、2年生は学級閉鎖のクラスがあったので、2年生以外の学年での実施となりました。(2年生は、16日(月)の業間に実施します。応援をお願いします。)

インフルエンザが流行っており、欠席もありましたが、自分で目標を決めて走る子どもたちの姿は、大きな声で応援したくなるものでした。中には、「〇位までに入ると、△を買ってくれるからがんばる」と教えてくれる子がいました。何かを買ってもらえる、やってもらえるがメインの目標では、それを得たら、次はもっと高いもの…なんてことになるかもしれません。そうではなく、子どもたち自身が「昨日の自分よりも少し成長した自分」に出会うためのものであってほしいと願います。

マラソンはつらいと思う子も多いでしょう。走っている子どもたちの息遣いから「つらいんだろうな」「苦しそうだな」とわかります。しかし、苦しさやつらさの先にある「それを乗り越えた自分」「やめずに続けられた自分」と出会えるのもマラソンをする意義の一つではないでしょうか。「自分に勝つ」ことは、なかなかできるものではありません。マラソン大会後に、「自分に勝った」「成長した自分と出会えた」子どもたちの顔を見ると、みんな輝いていました。ぜひ、お子さんとそんな話をしていただけたらうれしいです。

マラソン大会当日には、多くの保護者の方々や地域の皆さんから、がんばる豊坂っ子にたくさんの声援をいただきました。本当にありがとうございました。

昼休みは「生き生きタイム」

豊坂小学校の昼休みは20分あります。外で元気に遊ぶ子、ビオトープで生き物探しをしている子、図書室で静かに本を読む子、委員会の仕事で集まっている子、教室で折り紙を折ったり絵を描いたりして遊んでいる子など、自分でやりたことを選択し、その時間を楽しんでいる子どもたちの姿が見られます。

この日、4年1組の子たちが自分たちで作った紙芝居を読んで聞かせてくれました。昼の放送で紹介したので、聞きたいと思った子たちが集まりました。また、3年3組の子たちは、理科の授業で学んだ磁石を使って作った「釣り堀」を3年生の他のクラスの子たちに審査してもらっていました。昼休みは、子どもたちが自主的に活動する「生き生きタイム」です。

